

(学年) 3 年	(おこなった時期) 4 月下旬
(教科・単元名) 図工科・色と形の絵のぐあそび～ダイナミックアートを楽しもう！	
(実践) 〈目標〉自分の感覚を大切に、水彩絵の具で大胆に表現する快さを味わう。 1. 好きなポーズを考え、模造紙に全身を描き写す。【1 時間目】 好きな色のポスターカラーを選ぶ。模造紙の上に寝そべて友だちに身体の形を描き写してもらう。 2. 表したい感じを考えながら、模造紙に好きな色や形を入れていく。【2・3 時間目】 ふれあいホールにブルーシートをしき、 その上でペインティングを行う。絵の具筆 やはけ、ローラーを使ったり、手で直接色 をつけたりする。 3. 友だちの作品を鑑賞する。【4 時間目】	
(実践を終えて) 大きな模造紙に豪快にペインティングをするダイナミックアート。はじめは筆やローラーでせっせと色付けをしていた子も、洗濯糊を混ぜたポスターカラーのヌルヌルした感触を手で楽しみながら、模造紙の上で思いきりぐるぐるぐちゃぐちゃ。「うわあ、色が混ざった!」「足でやってもおもしろいよ」…。作品はまるで光のように、次々と色を変えていった。「きれいに」「はみださないで」「よごしてはだめ」などという規制がない活動だけに、どの子も色をたっぷり楽しむことができたようだ。オープンスペースや教室に作品を飾ると、まさにダイナミックな壁面アートのようになった。 三年生になって一番はじめの図工なので、「図工って楽しい」「これからの図工が楽しみ」という気持ちをもたせたい。またこれまでの実践から、「身体全体を動かして楽しく活動する中で、いろいろな発想が生まれ、豊かな表現になる」と実感している。今回の実践はそのような願いや思いがもとになっている。 教師が配慮することは、大きく二つ、場づくりと活動中の声かけである。子どもたちが思いきり活動できるような場をつくること。さまざまな表現で楽しめるよう、道具や材料をできるだけたくさん用意すること。思いのままに表現し、表現することを楽しむことが目的であるので、どんな表現も肯定的に受け入れること。こうすることで、ダイナミックアートという活動を通して、自分の中にある素直な気持ちが色や形に表現され、その心地よさを十分味わえると考えた。 制作中は個々の活動になるので、子どもたちは夢中になって取り組んでいた。一方で、友だちの表現を見ながら自分の作品に取り入れる姿も見られ、表現の幅が広がった。	